

分倍河原駅改良と周辺まちづくりについて（市民協働）

分倍河原駅は京王線駅の中で乗降客数がトップクラスの駅と言われています。

駅舎改良及び周辺のまちづくりは長年地域住民の悲願でした。市の方針が決まってから地元自治会や商店会と行政とで市民協働という形で議論を重ね、まちづくりの基本方針が市長に答申されました。住民もこのような進捗状況を理解し始めています。

ちょうど現在が折り返し地点を通過しこれから多くの難題を市民協働で克服していかなければならない時期に来ていると認識しています。この勢いが続くよう住民側も積極的に協力すると同時に行政側の今迄にもまして力強い決意と支援体制を強固なものにしていきたいと、地域住民は切望しています。

「自治会長と市長との懇談会」における代表質問より抜粋

開催日：令和5年7月12日（水）

場 所：府中の森芸術劇場

代表質問に対する市の回答

分倍河原駅周辺地区のまちづくりにつきましては、平成30年にまちづくり協議会から、地元の要望をまとめたまちづくり提案書が市に提出され、これを受けまして市は、令和2年にまちづくり基本計画を策定しております。

また、第7次府中市総合計画では、市民協働により重点的かつ優先的に実施すべき事業として、分倍河原駅周辺地区のまちづくりを位置付けるとともに、市の体制を強化するため、令和4年度にまちづくり拠点整備推進本部を立ち上げ、まちづくりに注力しているところでございます。

事業の進捗としましては、地区西側の分梅通りにおいて歩行者空間を確保するための工事を実施したほか、駅周辺の良い市街地環境を形成・保全するためのルールづくりについて地域の皆様と議論を重ねるなど、それぞれの取組みを着実に進めております。特に、事業の中心となる駅前空間や自由通路、駅舎の改良などの整備につきましては、昨年の9月に鉄道事業者と事業の基本的事項を定めた基本協定を締結し、現在は、JRと京王電鉄、市の3者が一体となり、事業の実現に向けて取り組んでいるところでございます。

今後につきましては、将来を見据えたにぎわいづくりなど、地域の皆様のお力がより重要となる取組みもございますので、引き続き、まちづくり協議会をはじめとした地域の皆様との協働により、長年の悲願である同地区のまちづくりの実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。